

農林漁業体験民宿 スタート

始めよう！ 感動体験



地域再生は 農林漁業から

南島原市では、基幹産業である農林漁業など、地域の特徴を生かした体験型観光、中でも「農林漁業体験民宿」を推進しています。

農林漁業体験と農林漁家に泊まる、農林漁業体験民宿では、訪れた人への「おもてなし」が大切です。

とはいえ、特別なことが必要なわけではありません。

私たちのふるさとは、長い歴史の中で育まれた生活文化のほか、山の幸、海の幸、心癒される美しい自然などの豊かな大地の恵みがあります。

こうした私たちの豊かな生活を、温かい心を持って共有すること、それが一番の「おもてなし」なのです。

なぜ、体験型観光なの？

南島原市の現状

南島原市の人口は、年々減り続けており、昭和35年の国勢調査で79,549人いた人口も平成17年には54,045人となり、約3分の2まで減少しています。

一方、世帯数は増加傾向にあることから、核家族化が進行しているといえます。

年齢別の人口構成は、0～14歳の子どもの割合が年々減少し、65歳以上の高齢者の割合が増加しています。平成17年の高齢化率は、全国平均21・0％に対し、南島原市は29・6％と格段に高く、全国より早いペースで高齢化が進んでいることがわかります。また、県内でも有数の農業地帯でありながら、農林漁家の数も減少しており、高齢化や後継者不足が深刻な問題となっています。

社会の流れ

現在、田舎暮らしへの関心が高まっています。都会の生活では、仕事に追われるストレス、家族の絆や地域との係わりの希薄化などが問題となっていて、

南島原市では、昨年6月に「南島原ひまわり観光協会」をグリーン・ツーリズム等推進組織として県に登録しました。

現在、約10軒の農林漁家が、旅館業（簡易宿所）の許可を取得し、「農林漁業体験民宿」の営業をスタートしました。

これまで、実際に受け入れを行う皆さんを対象に、安全衛生講習会などの各種研修のほか、モニターツアーを実施するなど、受け入れ組織の充実に取り組んできました。

今後も、継続して研修を行うなど、受け入れ者の拡大、観光客の満足度を高め、質の向上を図るとともに、南島原市が体験型観光の先進地となる取り組みを進めます。



収穫体験の様子



実家に帰ってきたような、夕食での団らん

ゆとり、やすらぎ、そしてふれあいを求める人が増えています。

旅行者は、訪れた地域の人々との交流の中で「癒し」を感じ、明日への生きる活力にしようとしているのです。また、一般の旅行や修学旅行が、「観る」観光から「体験型」の観光へと形態を変えてきています。

そこで、これらの時代背景から、地域再生の一つの手段として、本市の基幹産業である農林漁業を生かした体験型観光への取り組みを始めました。

では、体験型観光とはどのようなものか。そのメリットは何か。農林漁業体験民宿を始めるにはどうしたらよいかを次のページから紹介します。